

「芯の通った学校組織」推進プラン 第2ステージのポイント

～大分県版「チーム学校」実現プラン～

大分県版「チーム学校」の実現に向けて「芯の通った学校組織」の取組は第2ステージへ

「芯の通った学校組織」の構築による学校改革は、大分県版「チーム学校」の実現に向けた第2ステージへと進みます。〔期間：平成29～31年度〕大分県版「チーム学校」を実現することで本県教育水準の向上を図り、「教育県大分」の創造に道筋を付けることを目指します。

1 第1ステージ

学校は変わったか

- 学校マネジメントや組織的取組は着実に進展
(H28「芯の通った学校組織」定着状況等調査結果より)
- 学校の組織的課題解決力は着実に向上
⇒ 小学校で学力・体力ともに九州トップレベルを達成するなどの成果

2 第2ステージ

なぜ取組の継続・発展が必要か

- 教育を取り巻く情勢の変化に伴い新たな課題も顕在化

- ✓ 第1ステージで積み残された課題（「形」の確立から「質」の向上へ）
- ✓ 学校現場の抱える問題の複雑・多様化（子どもの貧困対策等）
- ✓ 教職員の大量退職・採用時代を迎え、学校現場の世代交代が加速
(学校の組織的課題解決力の維持・向上は喫緊の課題)
- ✓ 学習指導要領の改訂、学校における働き方改革等の教育改革への対応

- 学校マネジメント等の質の向上 + 国レベルの教育改革にも対応
- 持続的・発展的な教育活動を実現 → 「教育県大分」の創造を目指す
⇒ **その解決策が、大分県版「チーム学校」!**

3 ずばり

大分県版「チーム学校」とは

- チーム学校：管理職のリーダーシップの下、教職員・専門スタッフが各々の専門性を生かして連携・分担し、チームとして課題解決へ
- “大分県版”：「芯の通った学校組織」をベースとして、「チーム学校」の組織マネジメントだけでなく、学校マネジメントの両輪として目標達成マネジメントを重視

目標達成 × 組織

4 学校現場

求められる取組のポイント

学校マネジメント

- ✓ 各種ツールを活用した学校マネジメントの質の向上
- ✓ 「チーム学校」の推進、「地域とともにある学校」への転換

授業改善

- ✓ 「新大分スタンダード」に基づく授業の質向上、「3提言」の推進（小中）
- ✓ 「授業改善スクールプラン・マイプラン」による密度の濃い授業（高）
- ✓ 特別支援教育の視点からの授業改善
- ✓ 授業改善の取組を活かしたカリキュラム・マネジメントの推進

体力向上・健康増進

- ✓ 運動の習慣化・日常化に向けた組織的取組の推進（「一校一実践」の改善）
- ✓ 生活習慣の改善とフッ化物洗口の取組拡充

いじめ・不登校対策

- ✓ いじめ・不登校に係る校内対策委員会等の定期的開催の徹底
- ✓ SC・SSW等の専門スタッフ等を効果的に活用する体制整備
- ✓ 教育支援センター（適応指導教室）等との連携促進

5

主体性が肝心!

- 「芯の通った学校組織」の取組は、学校教育活動を効率的・効果的に進め学校のパフォーマンスの最大化を図るもの（学校における働き方改革の要!）
- 本プランで提示する各種ツールを活用した取組の工夫・改善
⇒ **各学校・各地域の実情に応じた主体的取組が何よりも肝心!**

「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上

学校マネジメントのPoint

【マネジメントの質向上】

- 「芯の通った学校組織」を基盤として「チーム学校」の視点を導入
- 「学校マネジメント4つの観点」に係る評価基準：A→Sへ

Point マネジメントツールの活用

- ✓ 指標設定 ≫ 重点目標達成に近付くための具体的な取組指標を設定 **【観点Ⅰ】**
- ✓ 検証・改善 ≫ 取組・達成状況を確認、指標の妥当性を検証しつつ改善 **【観点Ⅱ】**
- ✓ 目標の連動 ≫ 学校・分掌・個人の目標を連動させベクトル合わせ **【観点Ⅲ】**

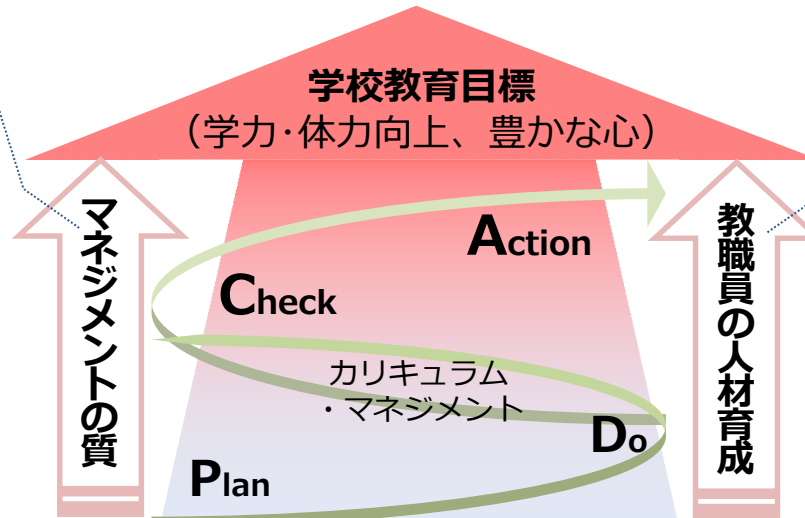
Point 「チーム学校」の推進 **【観点Ⅳ】**

- ✓ 少数職種を含む教職員や専門スタッフ等が専門性を発揮できる体制を構築
- ✓ 福祉・警察等の関係機関との連携強化

子どもたちの力と意欲の向上

学校教育水準の向上 (「社会に開かれた教育課程」の実現)

学校教育目標 (学力・体力向上、豊かな心)



【教職員の人材育成】

- 経験豊かで指導力の高いベテラン教職員の高い識見・優れたノウハウの伝承
- 日常の教育活動における組織的・意図的なOJTの推進

Point 校種間連携の推進 **【縦】**

- ✓ 学校段階間の連携・接続
- ✓ 各種ツールも活用し、マネジメント・教育課程レベルでの校種間連携を推進 **【特に幼小・小中】**

Point 学校・家庭・地域の協働 **【横】**

- ✓ 学校・家庭・地域が学校の重点目標を共有した上で、各々の主体的取組を促進
- ✓ CSの仕組みと「協育」ネットワークの活動（地域学校協働活動）が両輪として機能する環境づくり



連携

SC・SSW等



教諭



養護教諭



教諭



事務職員



事務職員

協働



【芯の通った学校組織】

目標達成マネジメント+組織マネジメント